



## 総 題 霊の結ぶ実

### 第 7 課 霊の結ぶ実ぜんいは善意

SDA聴覚しょうがい者友の会教材部

山地 宏 2010, 2, 6~2010, 2, 12

#### はじめに 2月6日(土曜日)

霊の結ぶ実とは、聖霊によって新しく生まれるときに、私たちのうちに見られる変化をさします。その聖霊の実の1つとして「善意」があります。ガイドの今週のテーマによれば「善意」とは「善良な心」や「善良な精神」といった、自分の中にある良い考え方や良い思いといったもの以上のものを意味していると言っています。霊の結ぶ実としての「善意」は、むしろ行動にあらわされるものであると言っています。「善意」と訳されているギリシャ語の「アガソースネー」という単語も、積極的、行動的な善を意味するといわれています。今週はこの聖霊の実としての「善意」について学びます。

#### 1. 神は善 2月7日(日曜日)

聖書の中では、絶対的な意味での「善」という言葉は、神様についてだけ使われています。マルコ10章17節から22節にお金持ちの人がイエス様の所に来て「善い先生」と呼びかけて質問をした物語が書かれています。その答えの中でイエス様はその人の「善い先生」という呼びかけに関連して次のように答えています。

「イエスは言われた。『なぜ、わたしを「善い」と言うのか。神おひとりのほかに、善い者はだれもいない。』」

副読本の中に英語の「善意」という言葉、” Goodness” について次のようなことが書かれていました。「善い」(Good) という言葉には、「神」(God) という言葉と同じ意味合いがありました。神は、単に、善意の心 (Goodness) を持ち合わせ、善事 (Goodness) を行われるというのではなく、神ご自身が善きお方 (God is good) なのです。

#### 2. すべての人が罪を犯した 2月8日(月曜日)

神様が善なるお方であることはわかりました。それでは人間はどうでしょうか。パウロはローマ3:12の中で言っています。「善を行う者はいない。ただの一人もいない。」この聖句が私たちに教えてくれているのは、私たちの中に、善意が自然に生まれてくることはない、ということなのではないでしょうか。つまり私たち人間はみな、罪深い存在で、善を行う力を持っていないということです。そうは言っても、確かに親切な人はいますし、無条件の愛を現す人を見ることもあるでしょう。とりあえず私たちは、他人の善い行為のことをとやかく言ったり裁いたりするべきではないでしょう。他人のことは置いておいて、自分自身のことを考えて見ましょう。私って善い人間だなあって思えるでしょうか。自分の胸に手を当ててよく考えて見て下さい。「善を行う者はいない。ただの一人もいない。」という言葉にうなづけるのは、私だけでしょうか。

### 3. 神の律法と善意 2月9日(火曜日)

律法りっぽうと聞くと、何となくきびしく責められるというような感じを持ちませんか。確かに、律法があるおかげで、私たちは、自分が罪人であるということを知ることができます。自分が罪人であるということを知ったおかげで、救い主が必要だということがわかります。それで、救い主であるイエス様へと導みちびかれるわけです。そういう律法の持つ役割やくわりはわかるのですが、それでもやはり、律法と聞くと、何となくきびしく責められるようなイメージを持ってしまうのです。でもそういう時は、律法を私たちに与えて下さっている神様は、私たちに善いものを与えようとして下さっている神様だということを出してみましよう。神様は、私たちが危険から守り、良いものだけを与えたいと願っているのです。ある時には「あなたは～～してはならない」という風ふうに、あることを禁止されます。つまり、律法は神様の私たちにに対する善意から出ているものなのです。

### 4. 善あゆに歩む 2月10日(水曜日)

エレミヤ13:23やローマ7:18を見ると、私たち罪深い人間には、善を行うことなど無理であるように思えてしまいます。そして、時には「どうせ善を行うことは無理なんだから、自分のやりたいように自由に生きてやろう」と思ってしまうかも知れません。もちろん自分の力で善を行おうとすれば、失敗してがっかりしてしまうことでしょう。でも、方法さえ間違えなければ、確かに私たちは善に歩むことができると聖書は言っています。その方法とは、イエス様を見上げるという方法です。自分で頑張がんばって善い人間になろうとすることではありません。イエス様の善意を見上げるのです。福音書を読んで、どんな罪人に対しても、また敵対てきたいしてくる人に対しても、いつも変わらない善を行ったイエス様のことを見上げるのです。そして、イエス様が私自身に対しても同じ善を行って下さっていることを思い出すのです。そのような善意のかたまりであるイエス様を、最高みりよくに魅力あるお方だと慕したうようになるならば、私たちは、そのお姿のように変えられていくのです。

### 5. 表あらわされた善意 2月11日(木曜日)

私たちは、自分が行った、善い行いよによって救われるのではありません。でも、私たちは、イエス様の十字架によって、罪を赦された人として、善を行うために生かされていると言うことはできます。こんな罪深い、弱い私を赦して救って下さった、その素晴らしい救い主イエス様のことを、周まわりのみんなにもわかって欲しいからです。「なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備して下さった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです。」(エフェソ2:10)「キリストがわたしたちのために御自身ごみづかを献ささげられたのは、わたしたちをあらゆる不法から贖あがない出し、良い行いに熱心な民を御自分のものとして清めるためだったのです。」(テトス2:14)主よ、どうか、私をもっともっと小さくなって、あなたがもっともっと大きく、私を通して外あらかに現れていきますように。